

公益社団法人
奈良県理学療法士協会

The NARA Physical Therapy Association News
奈良県理学療法士会ニュース

第140号

平成25年7月20日発行

発行：奈良県理学療法士会ニュース編集部
編集：奈良県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科
発行所：〒631-0846 奈良県奈良市平松1丁目30-1
事務局：奈良県立奈良病院 リハビリテーション室内
編集長：栗本 尚樹（奈良県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科）
ホームページ：http://www11.ocn.ne.jp/~nara_pt/index.html



◆ 目 次 ◆

巻頭言	2
論文投稿のお願い	3
生涯学習部からお知らせ	3
専門領域委員会よりお知らせ	6
新人歓迎会に参加して	8
平成24年度第9回定例（拡大）理事会議事録	9
平成24年度第10回定例理事会議事録	14
賛助会員一覧・会員数・施設数動向	15

巻頭言



公益社団法人としての第一歩

会長 尾崎 文彦

平成25年5月18日、「第20回定期総会」が、桜井市まほろばセンターで開催されました。会員皆様のご理解の下、全ての議案が承認されました。ありがとうございました。

また、その後に開催しました、平成25年度第2回定例（拡大）理事会にて、定款第24条2項に基づいて、会長及び副会長を、決議によって理事の中から選定しました。会長は私、副会長は石橋理事、増田理事の両名です。他の役員に関しましては、別頁の役員名簿にてご確認ください。

そして、ご存じの通り、本協会は4月1日から公益社団法人に移行しました。理学療法士の職業倫理の高揚を図るとともに、理学療法の学術及び技能の向上を推進し、もって県民の医療・保健・福祉の増進に寄与することを目的とする法人です。この目的を達成することは、簡単なことではありませんが、県民の皆さんに「理学療法」の素晴らしさを認めて頂けるように公益事業を進めていきます。一方、急増する理学療法士の未来を見据えた職能活動や政治活動も重要かつ緊急な課題として取り組んでいきます。関係各位におかれましては、今まで以上のご指導ご鞭撻を賜りますように重ねてお願い申し上げます。

ところで、最近気になっている言葉があります。それは「さとり世代」です。山岡拓氏の書籍「欲しがらない若者たち」についての、2ちゃんねるニュース速報板のスレッドから生まれた言葉です。定義としては「ゆとり世代の次。結果のわかってることに手を出さない。草食系。過程より結果を重視。浪費をしない。」です。特徴としては、車に乗らない。ブランド服も欲しくない。スポーツをしない。酒を飲まない。旅行をしない。恋愛に淡泊。貯金だけが増えていく。DVDの新作レンタルすると凄い贅沢した気になる。自分で納得したものにお金を出す。等らしいです。我々理学療法士には向上心が絶対に必要です。絶対に自己満足で終わってはいけません。さとり世代の皆さん、120%をめざして頑張ってください。そして、実習生指導でお困りのスーパーバイザーさん、新人教育でお悩みの管理職の皆さん、さとり世代が簡単に悟らないように頑張りましょう。

「今どきの若いもんは…」と言う愚痴はいつの時代にもある事ですから…

論文投稿のお願い

奈良県理学療法士会
学術誌部 岡田 洋平

初夏の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

「奈良理学療法学」への論文投稿のお願いです。今年度の予定は、1月頃には発行したいと考えております。現在のところ、投稿論文は0（ゼロ）件です。6月末には奈良県理学療法士学会が開催され、多くの演題発表がされます。自身にも肝に銘じていることですが、研究は学会発表をすれば終わりではなく、論文化までしなければ完結していないと考えます。皆様の臨床における新しい知見や研究成果を論文という形で公表し、それらの知見や成果を少しずつ着実に蓄積し共有していくことが、我々の職種の発展の上でも重要であると思えます。是非学術誌「奈良理学療法学」へ投稿してください。みなさまの論文投稿を心待ちにしております。



生涯学習部から

お知らせ

● 新人教育プログラムセミナーについて

平成24年度より新人教育プログラムは内容が見直されています。修了に必要な履修単位数が18単位から15単位となり、修了年限は3年以上から1年以上に変更されています（最短1年で修了申請が可能）。また症例発表の必須化は廃止されました。

新人教育プログラム未修了の会員の方々は、日本理学療法士協会ホームページよりログインするマイページにて履修状況を確認の上、今後開催されるセミナー・研修会にご参加ください。

本年度の新人教育プログラムセミナーは、第1回が6月（終了）、第2回が8-9月、第3回が12-1月、第4回が2-3月に開催予定です。日程・テーマが決まり次第、奈良県理学療法士協会ホームページなどで告知しますので、ご確認ください。

● 第二回新人教育プログラムセミナー

第二回新人教育プログラムセミナーを下記の通り開催します。

日 時：平成25年8月25日（日）9：30～15：15

場 所：畿央大学 KB04教室

所在地：奈良県北葛城郡広陵町馬見中4-2-2

T E L：0745-54-1601

参加費 奈良県理学療法士協会 会員： 各テーマ1000円（計4000円）

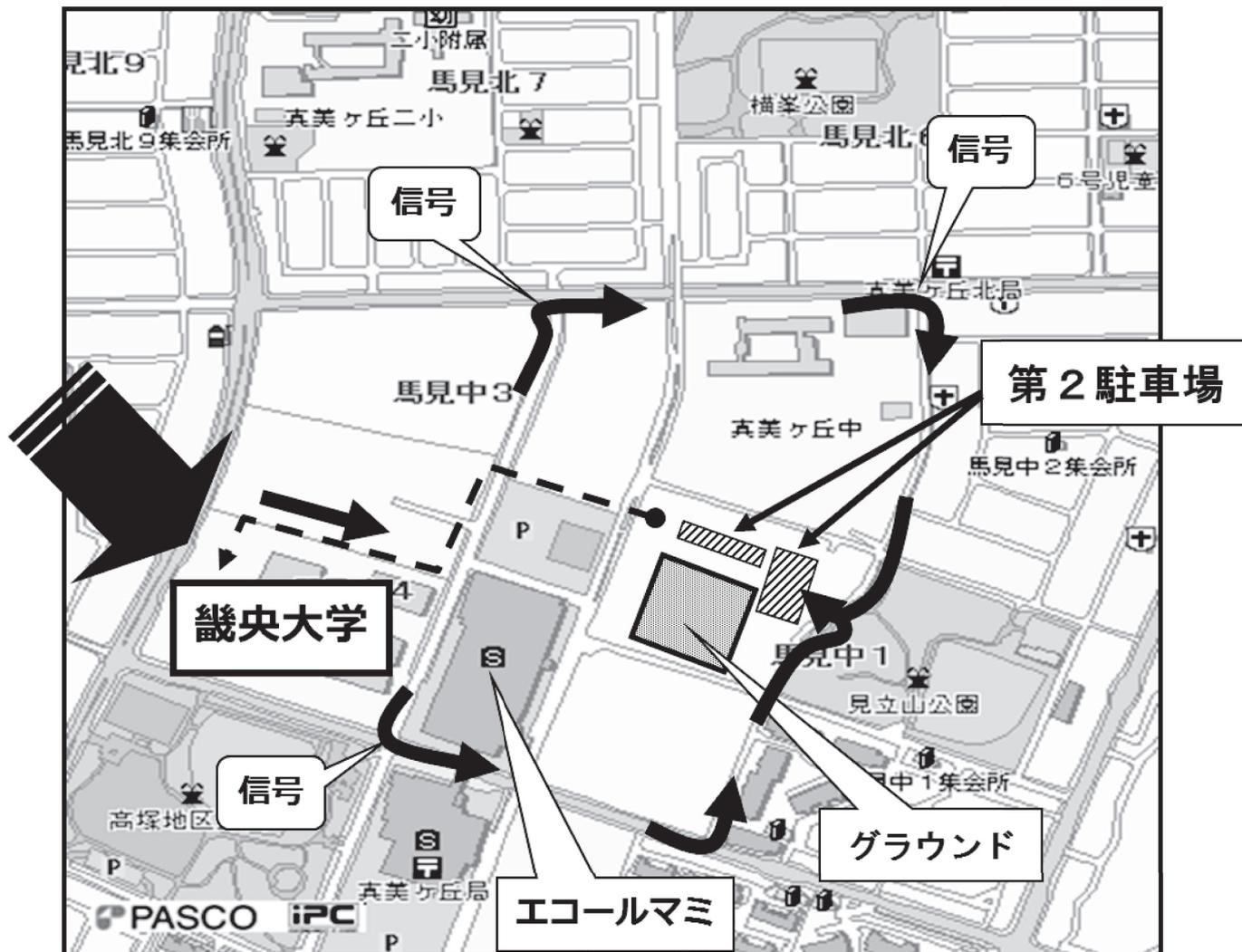
非会員（他府県士会員を含む）： 各テーマ2000円（計8000円）

[内容]

- 9 : 30 ~ 9 : 40 受 付
- 9 : 40 ~ 9 : 45 オリエンテーション
- 9 : 45 ~ 10 : 45 『理学療法における関連法規（労働法を含む）』
(旧テーマ：「理学療法士及び作業療法士法」ならびに関係法規等について)
門脇 明仁先生 奈良県立奈良病院
- 11 : 00 ~ 12 : 00 『人間関係および接遇（労働衛生を含む）』
(旧テーマ：人間関係及び労働衛生)
田中 秀和先生 奈良県立医科大学付属病院
- 12 : 00 ~ 13 : 00 昼食（60分）
- 13 : 00 ~ 14 : 00 『リスクマネジメント（安全管理と感染予防を含む）』
(旧テーマ：人間関係及び労働衛生)
増田 崇先生 奈良県立奈良病院
- 14 : 15 ~ 15 : 15 『クリニカルリーズニング』
(旧テーマ：学問としての理学療法と研究方法論)
徳久 謙太郎先生 西大和リハビリテーション病院

- 当日、会員確認を行いますので、**必ず会員証を持参し、提示してください。**
なお、平成25年度に新しく入会される方は、セミナー開催2週間前までに入会申請を完了させてください。新入会申請が終了している方は、会員証（会員番号）がなくても参加（会員料金）が可能です。
- 平成24年度より新人教育プログラムは内容が見直されています。日本理学療法士協会ホームページよりログインするマイページにて履修状況を確認の上、お間違いのないように受講してください。
- 駐車場には限りがありますので、できるだけ公共の交通機関を御利用ください。
- 近鉄五位堂駅からバスにて、馬見中五丁目または真美ヶ丘センターで降りてください。

—畿央大学 第2駐車場案内図— (当日の駐車場所になります)



 が駐車スペースになります。

申し訳ありませんが、大学までは破線のコースを徒歩でお越してください。

□ 問合せ先：

西大和リハビリテーション病院 リハビリテーション部 徳久謙太郎

〒639-0214 奈良県北葛城郡上牧町上牧3238-6

TEL (0745)71-6688(代) FAX (0745)71-1111

E-mail 生涯学習部 s.nishiyamato.reha@gmail.com

専門領域委員会よりお知らせ

この度、奈良県理学療法士協会専門領域勉強会に、新たな勉強会が登録されましたのでお知らせいたします。勉強会の詳細につきましては勉強会代表者までお問い合わせ下さいませようお願いいたします。

リハビリテーション研究方法論勉強会（登録番号007）

勉強会の目的

1人職場で働いている理学療法士、また研究機関に所属しない臨床の現場で活躍する理学療法士が、患者を対象にした研究活動の重要性を認識し、研究活動が行えるよう、簡便で高価な機器を必要としない研究の方法論について習得すること。

平成25年度リハビリテーション研究方法論勉強会活動予定

日時	内容	講師
H25/6/18	特別な機器がなくとも測定できるoutcomeの紹介	小林
7/16	理学療法における科学性・研究法（総論・研究デザイン） 研究計画の立て方・文献検索	川原 森井
8/20	症例報告の方法（ABABAデザイン） Randomized controlled trialsの方法論	小寫
9/17	評価の妥当性・信頼性研究の方法論 予後予測研究の方法論	小寫 小林
10/15	統計解析(基礎的な統計の知識/パソコンを使ったRの使用法の実際) (各自パソコン持参): Rの基本操作・2群間の差・分散分析・重回帰分析	森
11/19	無料でできる動作解析 (Image Jの使用法) (アライメント測定中心) (各自パソコン持参)	宮崎
12/17	Electromyographyの基本・使用方法・実際の測定	澳
H26/1/21 2/18	Electromyographyを使った計測 (健常人を対象にした基礎研究: 運動学を中心に)	森井
3/18	抄録の作成と検討・論文の構成・書き方	中谷・宮崎

受け入れ可能人数: 10名~15名 (5名×3グループ) 程度

会場: 阪奈中央病院リハビリテーション科 18:15~20:30

代表者氏名: 小林 功

代表者所属: 医療法人和幸会 阪奈中央病院リハビリテーション科
〒630-0243 奈良県生駒市俵口町741番地

連絡先電話番号: 0743-74-8660

連絡先e-mailアドレス: iandm-n-m-s@natural.zaq.jp

現在活動中の勉強会は次の通りです。

呼吸器循環器系勉強会（登録番号001）

代表者氏名: 田平 一行

代表者所属: 畿央大学

〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中4-2-2

連絡先電話番号: 0745-54-1601

連絡先e-mailアドレス: k.tabira@kio.ac.jp

奈良整形外科リハビリテーション勉強会（登録番号002）

代表者氏名: 榮崎 彰秀

代表者所属: 奈良西部病院 リハビリテーション科

〒631-0061 奈良市三碓町2143-1

連絡先電話番号: 0742-51-8700 (奈良西部病院)

連絡先e-mailアドレス: narahokuwaseikeigekareha@yahoo.co.jp

発達障害児・者勉強会（登録番号003）

代表者氏名：古川 智子

代表者所属：関西学研医療福祉学院

〒631-0805 奈良市右京1丁目1-5

連絡先電話番号：0742-72-0600

連絡先e-mailアドレス：angel_satopo@yahoo.co.jp

3学会合同呼吸療法認定士取得に向けた勉強会（登録番号004）

代表者氏名：坂本 雅尚

代表者所属：平成記念病院

〒634-0813 奈良県橿原市四条町827番地

連絡先電話番号：0744-29-3300

連絡先e-mailアドレス：mgkx34482@leto.eonet.ne.jp

スポーツ理学療法勉強会（登録番号005）

代表者氏名：福本 貴彦

代表者所属：畿央大学

〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中4-2-2

連絡先電話番号：0745-54-1601（内線5073）

連絡先e-mailアドレス：t.fukumoto@kio.ac.jp

健康増進・疾病予防・障害予防勉強会（登録番号006）

代表者氏名：瓜谷 大輔

代表者所属：畿央大学

〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中4-2-2

連絡先電話番号：0745-54-1601

連絡先e-mailアドレス：d.uritani@kio.ac.jp

委員会では随時勉強会グループを募集しています。“現在定期的に勉強会を行っている”という会員の方はもちろん、“会員に向けて情報発信をしたい”、“少人数でも勉強会を始めたけれど方法が分からなかった”など課題をお持ちであった会員の方も、一度委員会にお問い合わせ頂きますようお願いいたします。

（問い合わせ先）

畿央大学健康科学部理学療法学科 田平一行

電話：0745-54-1601

e-mail：k.tabira@kio.ac.jp

新人歓迎会に参加して

山の辺病院 笠原 愛、尾崎 綾、上野 文

初夏の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平成25年度新人教育プログラム及び新人歓迎会に参加させていただきました。役員の先生方のお話を聴かせて頂いたり、他の病院の新人理学療法士の皆さんとの交流の機会を持つことができ、非常に有意義な時間を過ごさせていただきました。誠に有難うございました。

はじめは少し緊張もありましたが、奈良県士会の役員の先生方が笑顔に接して下さり、少しずつ緊張も解け、楽しくお話することができました。様々な分野で活躍される先生方のお話は、非常に貴重な経験となりましたし、なかなかまだ触れたことのない分野のお話も聴くことができ、新たな興味にも繋がりました。また、学校の実習や講義でお世話になった先生方とお話させて頂いたり、学生の時とはまた違った形で再会できたことも良い刺激となりましたし、嬉しく思います。そして、他の病院で働く新人理学療法士の皆さんのお話も聞くことができ、共に努力していこうと励ましあうこともできました。

今回は、美味しいお料理とともに、非常に貴重な機会を設けて頂いたと思っております。各分野の勉強会や、厚生部が企画されているボウリング大会など、更に親睦を深める機会があるというお話もお聴きしたので、今後そういった場にも是非積極的に参加させていただき、様々な方との交流の中で、理学療法士としての自分の世界をもっともっと広げていきたいと強く感じました。



平成24年度第9回定例（拡大）理事会議事録

日時：平成25年2月17日（日）午前10：10～13：15
午後14：30～17：50

場所：奈良県理学療法士会 事務所

出席者：理事：尾崎、石橋、増田、松村、西田、廣池、
田平、中西
部長・委員長：河村、堀口、小川、枡、細川、
藤川、布上、徳久、岡田、榮崎、栗本、中野

監事：中俣、北村

議事録署名人：石橋、増田

委任状：佐藤、中村

書記：中野、辰己、小山

- 議事：1. 各局・部・委員会24年度事業報告
2. 各部・委員会25年度事業計画案
3. 24年度決算報告（現状）
4. 25年度予算案報告
5. 25年度予算案審議
6. 会長行動報告
7. 会員異動承認
8. 総会議案について
9. 全国士会長会議報告
10. その他

（午前の部）

1. 各局・部・委員会24年度事業報告

＜事務局＞（増田事務局長）

- ・会員管理はIT化したのが問題なく事業を遂行出来た。
- ・福利厚生部は、マラソン大会への出場ができなかった。

1) 総務部（中野部長）

- ・新事業の追加はなく、計画通り遂行できた。

2) 会員管理部（部長代理：藤川）

- ・弔事に関しては増田事務局長が行っている。
- ・各団体慶事では祝儀、弔事は弔電を送っている。県内養成校の入学・卒業式には尾崎会長または副会長が出席。欠席の場合には祝電を送っている。今年度より県外養成校への祝電は行っていない。
- ・郵送事業は、会誌・学術誌などは各部署で業者に依頼している。総会資料・近畿学会CD-R等は会員管理部で作業を行っている。

⇒総会資料に関しては、資料完成が総会日直前になってしまうため、業者に委託すると間に合わないことが多い。資料の当日配布や、ホームページへの記載を理事会にて検討する。

3) 財務部（布上部長）

- ・会費未納者は50名。支払請求は、日本理学療法士協会が行う。
- ・予算は例年通りで大差はない。繰越金の扱いに関して、税理士に確認をする。
- ・講師料に関して、本年1月より復興特別支援が課税される。
- ・税理士より、納税を翌月10日までに行うようにと指摘あり。各部、月末の支払となった場合には早急に財務部への連絡を行って欲しい。

4) 福利厚生部（細川部長）

- ・新人歓迎会や3会合同ボーリング大会などは、滞りなく事業遂行出来た。
- ・マラソン大会参加に関して、申込みを行う時点で期日前であったがエントリーが閉め切られていたため参加出来なかった。
- ・4～5月の間に保険料の支払いがある。後日、連絡を行う。
- ・傷害保険は会員全員に掛けている。

＜社会局＞

5) 医療保険部（部長代理：尾崎会長）

- ・4月11日に行われた情報交換会の詳細報告は介護保険部にて行う。
- ・Q&Aは士会ホームページに掲載。

6) 介護保険部（櫻井部長）

- ・今年度は情報交換会・講演会・介護予防推進セミナーを開催した。
- ⇒『認知症高齢者とのコミュニケーション』では、会員外での他職種の参加があった。『奈良県介護予防推進セミナー』は、部主催にて今後も継続して行っていく予定。今年度は手続きが遅れ、県の後援を得られなかった。セミナー名だけを見ると奈良県主催と捉えられかねないため、名称変更を検討する必要あり。『介護保険分野に携わる方のための情報交換会』は、参加者19名、部員・ファシリテーターを合わせると計34名となった。

7) 社会福祉部（榮崎部長）

- ・社会福祉部便りの更新作業を行っている。今後は更新年月日を記載していく。
- ・難病疾患での障害者自立支援法が適応となった。
- ・本年4月に『障害者自立支援法』が『障害者総合支援法』に名称が変更され、内容が一部変更となる。

8) 理学療法啓発部（部長代理：細川部員）

- ・新事業として『理学療法川柳』を実施。応募総数は63首。その中から優秀賞、会長賞、佳作などを選定した。
- ・新聞広告へは、10数件の掲載を行なった。

<学術局> (石橋学術局長)

- ・協会システムの変更があったが、トラブルなく遂行できている。
- ・学術誌部では投稿論文が少なく、今後の課題である。

9) 生涯学習部 (徳久部長)

- ・新人教育プログラムセミナーを4回14テーマで開催した。
- ・年次制がなくなったため、1年次で新人教育プログラムの修了が可能となる。
- ・来年度の新人プログラムの振替は随時告知していく。
- ・新人教育プログラム修了者の把握は可能か。

⇒履修状況の把握は、協会のマイページでの個人管理となっているため、当会での修了者の把握は出来ない。

10) 研修部 (河村部長)

- ・部会は4回開催。
- ・会員カード導入により、受付方法が変更されたが、受付業務は滞りなく行っている。ただし、新人教育プログラムの終了者と未終了者を分ける必要がある。その為、受付時にパソコンが2台必要となる。現在、研修部では1台所有。研修会開催時には生涯学習部より1台借りて対応。研修部でのパソコン購入を検討して欲しい。

11) 学術誌部 (部長代理: 岡田部員)

- ・論文投稿数は3演題あり。掲載は1演題とする為、現在査読中である。
- ・学術誌の送付は正会員のみである。

<広報局>

12) ニュース編集部 (栗本部長)

- ・今年度から郵送事業は業者に依頼している。費用は作業代・発送費込みで計4万円である。
 - ・当会ホームページにはPDFで掲載。PDFデータはCD-Rで保管している。
 - ・ニュースの保管はどうすればよいか。
- ⇒保存用・閲覧用で2部ずつ、当会事務所に保管する。

13) 会誌部 (堀口部長)

- ・18号は発行済み。現在、19号は発行に向け編集作業中である。
- ・郵送先は正会員、賛助会員、近畿の各士会、奈良県看護協会、奈良県作業療法士会などの関連諸団体である。

- ・会誌は各号2部ずつ当会事務所に保管する。
- 14) ホームページ管理部 (部長代理: 松村広報局長)
- ・去年2月～今年1月で新着経済記事は96件。
 - ・ホームページのリニューアルに向け現在、作業中である。

<各委員会>

- 15) 第22回奈良県理学療法士学会準備委員会 (学会長代理: 尾崎会長)
- ・計画通りの開催となった。

- 16) 第23回奈良県理学療法士学会準備委員会 (田平学会長)
- ・2月15日に演題募集を締め切り、17演題の応募があった。これから査読を行っていく予定である。
 - ・会場は畿央大学を予定している。

- 17) 表彰審査委員会 (堀口委員長)
- ・第22回奈良県理学療法士学会において表彰式を執り行った。

- 18) 新人研修委員会 (増田委員長)
- ・例年通り、3コースを開催した。全回出席し終了する者が少ない。

- 19) 第20回公開講座準備委員会 (廣池準備委員長)
- ・山田先生、失語症合唱団団員の皆様ともに介助が必要であったが無事に終了することが出来た。

- 20) 専門領域委員会 (田平委員長)
- ・今年度より士会主催の研修会での負担金は3万円となっている。

- 21) ブロック活動推進委員会 (藤川委員長)
- ・今年度から新人教育プログラムでの症例発表が必須ではなくなった。
 - ・北和ブロック14演題、中和・南和ブロックは0演題であった。中和ブロックでは代替事業として症例検討・実技研修会を開催した。実技研修会の講師への謝礼は必要か。

⇒外部講師に依頼をすれば謝礼は必要となる。ブロック内の正会員が講師となった際にはボランティアとし謝礼は不要。

- ・演題が集まらなかった場合には、開催中止という形でも良い。代替事業を行うかどうかはブロック世話人で検討する。

- 22) 選挙管理委員会 (小川委員長)
- ・平成25・26年度役員選挙の告示が3月に行われる。
 - ・公益法人化に伴い、理事10名、監事3名に役員数が増える。

- 23) 公益法人化推進委員会 (増田委員長)
- ・昨年12月に申請を行った。来週に審査委員会が開催される。

- 24) 奈良マラソンメディカルサポート委員会（委員長代理：田平理事）
・トラブルなく終了した。
- 25) 法人設立20周年記念事業準備委員会（西田委員長）
・招待者への案内は口頭だが既に行なっている。

2. 各部・委員会25年度事業計画案

<事務局>

- 1) 総務部（中野部長）
・事業変更なく、例年通り行う予定。
- 2) 会員管理部（部長代理：藤川）
・事業変更なく、例年通り行う予定。
・会員名簿への記載を希望しない会員に関してはどのように対処するか。
⇒名簿作成は行う。会誌に掲載するかどうかは理事会で検討する。
- 3) 財務部（布上部長）
・公益法人へ移行するにあたり、対応を行っていく。
- 4) 福利厚生部（細川部長）
・事業変更なく、例年通り行う予定。
・マラソン大会の参加締め切りを早めに行う。

<社会局>

- 5) 医療保険部（部長代理：石橋理事）
・例年通り行う予定。
- 6) 介護保険部（櫻井部長）
・例年通りの事業に加え、『奈良県介護予防推進セミナー』のシリーズ化を予定。
- 7) 社会福祉部（榮崎部長）
・障害者自立支援法の改正に伴う情報収集及び情報公開を随時行っていく。
- 8) 理学療法啓発部（部長代理：細川部員）
・事業変更なく、例年通り行う予定。
・公開講座を啓発部の事業としてはどうか
⇒平成25年度は公開講座準備委員長も決定しているためこれまで通りに行う。平成26年度より啓発部の事業とするが検討する。

<学術局>

- 9) 生涯学習部（徳久部長）
・事業変更なく、例年通り行う予定。必須初期研修5テーマを含む14テーマの新人教育プログラムセミナーの開催を予定している。
- 10) 研修部（河村部長）
・部長を後藤総介氏に交代予定。
- 11) 学術誌部（部長代理：石橋学術局長）
・事業変更なく、例年通り行う予定。
・部長が岡田洋平氏に交代予定。

<広報局>

- 12) ニュース編集部（栗本部長）
・例年通り行う予定。
- 13) 会誌部（堀口部長）
・事業変更なく、例年通り行う予定。
・会誌20号を法人設立20周年に合わせ、特別号として発刊するの
⇒20周年記念誌を発刊する予定である為、会誌は通常通りの発刊とする。
- 14) ホームページ管理部（部長代理：松村広報局長）
・事業変更なく、例年通り行う予定。

<各委員会>

- 15) 第23回奈良県理学療法士学会準備委員会（田平学会長）
・教育セミナーの講師は決定、内諾を頂いている。
- 16) 第24回奈良県理学療法士学会準備委員会（学会長代理：尾崎会長）
・詳細は未定である。
・準備委員長に榮崎彰秀氏に決定している。
- 17) 表彰審査委員会（堀口委員長）
・活動内容は例年通り。
・20周年記念式典にて、県及び士会からの表彰を予定している。
- 18) 新人研修委員会（増田委員長）
・来年度から「運動器リハビリテーション」コースを増やし、4コースとする。
・委員長を和田善行氏へ交代予定。
- 19) 第21回公開講座準備委員会（準備委員長代理：尾崎会長）
・理学療法啓発部と協議しながら事業を進めていく。
- 20) 専門領域委員会（田平委員長）
・事業変更なく、例年通り行っていく。
- 21) ブロック活動推進委員会（藤川委員長）
・演題が集まらない場合の代替事業を検討する。
- 22) 選挙管理委員会（小川委員長）
・平成25・26年の役員選挙を施行。
・選挙管理規程は既存のものを使用する。
・立候補者が定数を超えた場合の選挙実施方法、日程等を検討する必要あり。
- 23) 公益法人化推進委員会（増田委員長）
・4月1日の公益法人移行を目指す。移行後は解散を予定しており、登記作業は事務局が担当する予定。
- 24) 奈良マラソンメディカルサポート委員会（委員長代理：田平理事）
・変更なく、例年通り行う予定。
- 25) 法人設立20周年記念事業準備委員会（西田委員長）

- ・スタッフを増員し行なっていく。

26) その他

- ・ホームページに勉強会開催を掲載して欲しい場合はどうすればよいか。
⇒ホームページ上から問い合わせを行なってもらう。その後、役員にて掲載の可否が決定される。
- ・組織検討委員会を平成25年度に立ち上げる予定。

3. 24年度決算報告（現状）

- ・各部決算は、予定通りか節約して赤字にはなっていない。
- ・支出科目のつけ方に変更が出る可能性がある。

4. 25年度予算案報告

- ・各部からの予算案で概ね良い。だが、公益法人化に伴い予算の出し方がこれまでと変更する可能性があるため税理士と相談をする。そのため、各部の予算額が予算案と異なる可能性がある。その結果、決算が赤字となっても構わない。
- ・法人設立20周年記念事業の予算は積立金を充当する。

(午後の部)

5. 25年度予算案審議（尾崎会長）

- ・25年度予算案が審議され、25年度予算においては税理士と相談の上、分配する。

6. 会長行動報告（尾崎会長）

- 1 / 18 新年会 / 20 リハ3団体合同 訪問
リハ実務者研修会 開会挨拶
- / 26 都道府県理学療法士会会長集会
- 2 / 1 (社)日本介護福祉士会近畿ブロック大会
開会式
- / 7 第52回近畿理学療法学会 学術大会
誌確認
- / 8 介護保険部 報酬改定後情報交換会
- / 10 吸引研修会
- / 14 公益法人化推進委員会 申請書類班会議
- / 16 第12回近畿介護支援専門員研究大会奈良
大会 開会式
- / 17 定例（拡大）理事会 第9回

7. 会員異動承認

平成25年1月13日から2月16日までの会員異動が理事全員に承認された。

8. 総会議案について（増田理事）

- ・協議の結果、第20回定期総会議案は以下のように決定した。
- 第1号議案 平成24年度事業・決算及び監査報告の承認に関する件
- 第2号議案 平成25年度事業計画・予算案の承認に関する件
- 第3号議案 平成25年度・26年度役員選出に関する件
- 第4号議案 選挙管理委員選出に関する件
- ・第5号議案に関しては、その他にするか、細則・規程・その他の総会承認が必要な書類を整理する必要がある場合は、事務局で取りまとめて、MLにて承認を得る。

9. 全国士会長会議報告（尾崎会長）

- ・山口かずゆき氏の応援体制について話し合いを行った。
- ・公選ハガキの取り扱いについて、ポストへの投函を防ぐため、配布した枚数と回収した枚数の一致を確認する。
- ・各ブロックへ山口かずゆき氏が訪問された際には、士会主催によるミニ集会を開催し、翌日に施設訪問を行う。
- ・新人教育プログラムの症例発表の単位認定について、都道府県認定の症例検討会での発表も単位を認めるような話があった。
- ・理学療法士講習会の申請の承認について、都道府県士会を経由しないといけないことになっているが、承認に関する基準が定まっていない。
- ・公益法人移行後の報告書の作成方法について情報交換を行った。
- ・協会の新組織に関して、学術面が強くなり、職能面が弱くなるのではないかという意見があった。
- ・会長集会の今後の必要性について話し合いを行った。各都道府県の状況・情報交換の場として、もう2、3年継続して行う。

10. その他

- 1) 日本医療マネジメント学会について（石橋理事）
- ・2 / 2 に日本医療マネジメント学会 第8回奈良支部学術集会と奈良支部の理事会が開催され、石橋理事が出席。今大会は奈良医療センターの担当で開催され、第9回学術集会の担当は高田市立病院、第10回学術集会の担当は県立奈良病院となる。
- ・参加者は年々増え、今大会は396名の参加があった。

- ・ コメディカル単独の発表の中で、リハビリ関連の発表がほとんどない。今後はリハビリ部門単独での発表が増えるよう呼びかける。
- 2) 多職種共同による在宅チーム医療を担う人材育成事業に伴う地域リーダー研修について (増田理事)
- ・ 地域医療に関わる多職種間の連携体制を構築するための事業を県で展開していく。事業内容を検討するため、本会へ5、6名の派遣要請がきている。
- ⇒北・中・南和から在宅医療に携わる先生へ打診を行い、MLにて人数調整を行う。
- 研修会参加に掛かる経費は士会から支給する。
- 3) 災害データバンクの登録について (増田理事)
- ・ 大規模災害が起きた時に、県より団体として何か支援できるよう登録してもらいたいとの依頼があった。
- ⇒登録することが決定された。サービス内容は、リハビリテーション医療の専門職として理学療法士の派遣とする。組織検討委員会にて、災害担当部署を創設することも検討する。
- 4) 特別支援学校について (尾崎会長)
- ・ 特別支援学校にも理学療法士等の専門職を置くよう、協会が働きかけている。教育委員会等より、協力して頂ける理学療法士等を探す際、問い合わせ先がわからないとの声がある。各都道府県が窓口となり、人材のリストアップを行うよう協会長より依頼がきている。
- ⇒県からの問い合わせ内容によって、対応を協議する。
- 5) ニュースの巻頭言について (松村理事)
- ・ 巻頭言の担当が以下のように決定した。
- 4月号担当：中西理事、7月号担当：新会長、10月号担当：西田理事
- 1月号担当 (予定)：新監事、4月号担当 (予定)：新監事
- 6) 高次脳機能研修会について (西田理事)
- ・ 1/20開催の高次脳機能研修会に西田理事が出席し、参加者は多数であった。
 - ・ 来年度も引き続き、研修会へ出席する予定である。
- 7) 近畿士会長会議について (尾崎会長)
- ・ 協会の役員選挙に関して、近畿ブロック士会長一同で、理事立候補の中前先生と監事立候補の八木先生を推薦する。
 - ・ 会員へ報告するため、推薦に関する文書を各院所へ送ったほうがよいか。
- ⇒MLによる役員への報告と、3月開催の研修会にて会員へ報告し、投票を促していく。
- 8) 監査について (北村監事)
- ・ 3月に監査を実施予定。
 - ・ 各書類の保管年数を見直していく。
 - ・ 会議議事録として、総会資料と総会議事録、理事会議事録は事務所に保管する。
- 9) 事務所の鍵の追加作成について (廣池理事)
- ・ 会議以外でも、事務所の書類整理や掃除等が行えるよう、事務所の鍵を追加で作成していただきたい。
- ⇒鍵を追加作成することが決められた。
- 10) 理事会日程について (尾崎会長)
- ・ 3月の理事会当日は監査も実施されるため、開始を14時とする。
 - ・ 4月の理事会は4/13の14時30分開始とする。
 - ・ 理事会の開始時間について、今後は基本14時30分開始とする。

以上

平成24年度第10回定例理事会議事録

日時：平成25年3月9日（土） 15：00～16：10
場所：奈良県理学療法士会 事務所
出席者：理事 尾崎、石橋、増田、松村、廣池、田平、
中村、中西

部長：布上
監事：北村、中俣
議事録署名人：松村、廣池
委任状：佐藤、西田
書記：中野

- 議事：1. 予算関係
2. 会長行動報告
3. 会員異動承認
4. 各局・各部・委員会報告
5. その他

1. 予算関係（布上財務部長）

- ・2月の予算案から変更があり、布上財務部長より説明があった。
- ・公益法人の申請を通して、繰越金は残しておく費用であって、必要な所へ充てる処理は行えないことに気付いた。よって、収入の部では前年度繰越金を0円へ変更した。
- ・支出の部では、各部実績に応じて予算を削っている。
⇒各部予算に関しては、決定する前にMLにて報告する。
- ・総会后、各部・委員会へ無駄な支出を出さないよう、収入・支出に関する説明を行う。
- ・余った費用を会議の際の飲料代（お茶）や駐車場代に充てることを税理士と相談の上、検討していく。
- ・未納者は48名から40名へ減った。

2. 会長行動報告（尾崎会長）

- 2/19 公益法人化推進委員会 申請書類班会議
/25 調整会議
- 3/3 衆議院議員高市早苗「お雛祭り幹事会&国政報告会」
/3 研修部 第4回研修会（代：増田）
/5 奈良リハビリテーション専門学校 卒業式
/8 関西学研医療福祉学院 卒業式
/9 白鳳女子短期大学 卒業式
/9 定例理事会 第10回

3. 会員異動承認

平成25年2月17日から3月9日までの会員異動が理事全員に承認された。

4. 各局・各部・委員会報告

1) 表彰審査委員会（松村理事）

- ・以下の平成24年度学術奨励賞 学会賞および新人賞が理事会に答申され、答申通り決定された。

平成24年度奈良県理学療法士会学術奨励賞
学会賞 高松 秀行 会員（平尾病院）
新人賞 岩佐 精志 会員
（天理よろづ相談所病院）

2) 第24回奈良学会準備委員会（中村理事）

- ・準備委員が決まり、4月に会議を開催予定。

3) 第23回奈良学会準備委員会（田平理事）

- ・22題の演題が集まり、査読を行っていく。
- ・今年から査読はメールにて行う予定である。ワードにパスワードを設けて管理を行う。
- ・奈良学会の査読者に特別な基準はなく、委員が決定している。基準を決めるべきか。
⇒学会が円滑に行えているのであれば、特別な基準を設ける必要はない。過去の発表や研究内容等を参考に決める。

5. その他

- 1) 山口かずゆき氏の応援体制について（尾崎会長）
 - ・公選ハガキの依頼はなくなり、リスト（住所等）の依頼がくる予定であるが、党の公認が確定していないため、詳細は未定である。
- 2) 近畿学術大会誌について（尾崎会長）
 - ・業者との校正作業に時間を要し、郵送が遅れている。随時、各県へ郵送予定。

以上

賛助会員一覧

(株) 日本メディックス	564-0044	吹田市南金田町 2-12-18	06-6369-1201
(株) 富金原義肢製作所	571-0039	門真市速見町 2101	06-6909-6528
(有) カンサイ義肢	571-0048	門真市新橋町 29-1	06-6908-0911
(有) ウィンド	630-0211	生駒市桜ヶ丘 5-29	0743-75-3887
(株) 奈良義肢	630-8435	奈良市西九条 3-2-23	0742-62-7979
奈良ニッセイエデンの園	636-0071	北葛城郡河合町高塚台 1-8-1	0745-33-2222
(株) イカリトンボ、ケアホープ	636-0154	生駒郡斑鳩町竜田西 4-1-40	0745-75-2028
テクノブレース	636-0247	磯城郡田原本町阪手 13-7	07443-2-5893
(株) 川村義肢エイドセンター奈良	636-0343	磯城郡田原本町大字秦庄 432-15	07443-2-8891
ツザキ・ケア・ブレイス	636-0347	磯城郡田原本町新木 1-141	07443-3-3678
(株) 大床義肢	639-1045	大和郡山市小林町西 1-4-7	0743-56-8944
山一株式会社	550-0001	大阪市西区土佐堀 1-4-11 金鳥土佐堀ビル5階	06-6447-5924

会員数・施設数動向

平成25年6月20日現在

	施設数	会員数
施設会員	135	817
自宅会員	98
総会員数	915名	

※ 施設数には自宅会員を含んでいません。



♪ (常勤) 理学療法士募集 ♪

～ Life is Beautiful ～ ともに手をつなぎ ころ輝く人生を 創造しよう

児童福祉法に基づく児童福祉施設であると同時に医療法上の病院、自立支援法に基づく療養介護です。

旧重症心身障害児施設で、医療・看護・療育・介護・教育・リハビリテーション等で総合的に障害をもつ人たちを支え、重い障害を持つ人が普通のライフステージに立つことを目的としています。

仕事内容: 重症心身障害児者の訓練他

勤務地: 奈良市鹿野園町 1000-1

名称: 社会福祉法人バルツァ事業会

重症心身障害児学園・病院

バルツァ・ゴードル

連絡先: 0742-21-7111

応募: 履歴書を送付ください。おってご連絡致します。

就業時間: 9:00 ~ 17:30

年間休日: 117日

給与 (理学療法士)
 基本給 168,200円～
 資格手当 17,000円
 支給目安 183,200円～
 ※経験者優遇

住宅手当 20,000円 (条件あり)
 通勤手当 上限50,000円
 賞与 年2回 4.2ヶ月 (平成24年度実績)

【地域包括ケアシステム・プロジェクトメンバー募集】

“急性期から在宅へ” 10年後スタンダードとなる在宅回復期システムの構築を目指して！
 『非日常から Re: 日常へ』 在宅自立のために、自宅と施設、地域を連携・融合をさせて
 最後まで自宅で自分らしく安心して暮らせる地域環境創りを一緒に考えて見ませんか？

募集人員: 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師

勤務先: ★いこいの家訪問看護ステーション。

★リハビリ特化型地域密着型小規模多機能事業所 いこいの家26 (2012年4月開設)

★まちの保健室: 地域相談室、サテライト型リハビリセンター (開設準備中)

●各種保険完備、勤務応相談、給与当社規定による、能力加算有。お気軽にお問い合わせ下さい



いこいの家訪問看護ステーション 株式会社ライフケア創合研究所 担当: 湯川

〒630-0243 奈良県生駒市俵口町814番地1 ハイネス生駒302号

TEL: 0743-70-8300 e-mail: ikoi@kcn.jp http://lifecare.jp/

施設と地域をつなごう！ならリハビリテーションネットワークメンバー募集中

